

# 2011 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に 当院において肺がんで手術（肺部分切除を除く）を受けられた方、 及びそのご家族の方へ

## —「原発性肺癌に対する手術アプローチ

：次世代への開胸手術の教育・伝承に関する研究」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	最相 晋輔
研究分担者	川崎医科大学呼吸器外科学	教授	中田 昌男
	川崎医科大学呼吸器外科学	准教授	清水 克彦
	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	野島 雄史

### 1. 研究の概要

1990 年代までは肺がんの手術は胸部を大きく切開して行う『開胸手術』で行われていました。1992 年に日本で初めて肺がんに対して胸腔鏡という内視鏡を用いた手術が行われて以降、胸部を大きく切開せずに行う『胸腔鏡手術』が主流となりました。さらに 2018 年には『ロボット支援下手術』が保険適応となり、広がりつつあります。こうした『胸腔鏡手術』『ロボット支援下手術』では胸部を大きく切開しないことから、手術の後の疼痛が比較的軽く、また美容性も優れることから『低侵襲手術』と言われ、現在においては肺がん手術の 8～9 割がこの『低侵襲手術』で行われています。

一方、従来からの『開胸手術』は大きく減少しましたが、切除が難しい進行したがんに対してや、手術中の出血が多くなった場合などに安全・確実に手術を行う方法として現在も、今後も必要な手術方法です。しかし、『低侵襲手術』が多く行われている現在、より困難な状況で必要となる『開胸手術』の知識・技術を、次世代を担う若手医師が習得できる機会は減っているのが現状です。この若手医師の教育や『開胸手術』を次世代へ伝承することは学会でも大きな課題となっています。

私たちはこれまでに川崎医科大学附属病院呼吸器外科で肺がんの手術を受けられた方を対象として、『胸腔鏡手術』を受けた方と『開胸手術』を受けた方とで、手術を担当した医師や手術中・手術後の治療経過に関する情報を収集して、今後も肺がん手術が安全に行われるようにするための研究を行っています。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2011 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に、川崎医科大学附属病院呼吸器外科において肺がんの治療のために手術を受けられた約 1,200 名の方を研究の対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

#### 3) 研究方法

今回の研究は、研究対象となる方の診療録（カルテ）から、肺がんや手術、手術後の経過などに関する情報を集めて解析します。

#### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、手術前の検査データ、手術術式、手術を行った医師、手術後の経過 など

#### 5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学呼吸器外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。また、今後研究の対象となる期間を延ばしたり、対象となる方をさらに増やしたりして研究を行う場合には、今回の研究で使用した情報を再度利用することがあります。その際には、倫理委員会で承認を得ます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際にも、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2026年8月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 呼吸器外科学

氏名：最相 晋輔

電話：086-462-1111 内線 25519（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1124

E-Mail：s.saisho@med.kawasaki-m.ac.jp

### 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。